

報告事項ア

令和6年度とっどりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果
について

令和6年度とっどりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果につい
て、別紙のとおり報告します。

令和6年8月28日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

報告事項ア

令和6年度とつりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果について

令和6年8月28日

小 中 学 校 課

1 目的

鳥取県にあるいろいろな仕事を見学したり、体験したりすることで、子どもたち自身が働くことの意味ややりがいを知り、自分の将来について深く考えるきっかけとする。また、見学や体験で得た学びを自由研究やリーフレット等を活用して発信することで、鳥取県内の企業のすばらしい取組や、ふるさと鳥取のよさを実感できるようにする。

県内の仕事を知り、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができることから、子どもたちの未来を生き抜く力を育む「ふるさとキャリア教育」の一環として行う。

2 日時

東部コース：令和6年7月29日（月）午前9時から午後4時30分まで

中部コース：令和6年7月31日（水）午前9時から午後4時30分まで

西部コース：令和6年7月30日（火）午前9時から午後4時30分まで

3 参加者

小学校及び義務教育学校4年生～6年生の児童とその保護者 計91名（児童48名 保護者43名）

・東部地区コース：15組（児童18名、保護者15名、合計33名）

・中部地区コース：14組（児童15名、保護者14名、合計29名）

・西部地区コース：14組（児童15名、保護者14名、合計29名）

※3コースとも参加申込み多数により、厳正な抽選を行った上で参加者を決定

4 内容

コース・期日	訪問企業	体験・見学内容
＜東部＞ 7月29日 （月）	株式会社 LIMNO	工場ではタブレットの製造現場を見学し、グループで協働しながらタブレットの分解体験等を行う。
	大江ノ郷自然牧場グループ 有限会社ひよこカンパニー	料理やスイーツが作られる様子を見学し、集卵体験とプリン液注入体験を行う。
＜中部＞ 7月31日 （水）	株式会社チュウブ	芝の歴史について学び、芝の圃場で芝の育成の様子を見学したり、実際に芝に触れたりする。
	大山乳業農業協同組合	工場では牛乳やヨーグルトができる様子を見学し、「利き牛乳」体験を行う。
＜西部＞ 7月30日 （火）	三光株式会社	山陰最大級の複合廃棄物処理工場を見学し、地域から出てくる廃棄物のリサイクルや処理について学び、仕事の一部の模擬体験を行う。
	株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク	テレビなどで配信されている緊急情報や地域情報配信の仕組み、情報発信のコツ等を体験しながら学ぶ。

5 成果・還元

ツアー終了後のアンケートでは、参加した児童や保護者から、工場・店舗等の見学や仕事体験を通して、「鳥取県内にも魅力的な企業があることを知ることができた」という声や、それぞれの企業で働く方の仕事への思いや働きがい、ふるさと鳥取への思いを聞くことで、「働くことや自分の将来について考えるきっかけとなった」、「ふるさと鳥取のよさや魅力に気づくことができた」などの声があった。また、参加児童の95%がこのツアーを通して「ふるさと鳥取について考えることができた」との肯定的な回答も得ることができた。

参加児童には、ツアーで得た学びを自由研究や新聞、レポート等にまとめ、成果物として提出してもらっている。今後は、この取組について研修会やイベント等の様々な機会を通じて発信することで、鳥取の魅力ある企業やふるさと鳥取の魅力について広く県民に周知を図っていく。

「令和6年度とつりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の
見学・体験内容と参加者の感想（中部地区コース）

- 1 日 時 令和6年7月31日（水）午前9時から午後4時30分まで
- 2 訪問企業 株式会社チュウブ、大山乳業農業協同組合
- 3 参加人数 児童15名、保護者14名、合計29名
- 4 見学・体験内容と参加者の様子

鳥取のよさを生かして鳥取だからこそできる商品づくりを行い、よいものを全国に届けたいという思いを聞き、ふるさと鳥取のよさや鳥取の魅力ある企業の取組のすばらしさに気付いていた。

【株式会社チュウブ】

- ・国立競技場に出荷している芝と同じ芝を育成している圃場を見学し、親子で実際に芝を触ったり、寝転んだり、グランドゴルフをしたりしてその芝の良さを体感していた。
- ・実際に芝の整備機械に乗ったり、芝を触ったりして感じた疑問を職員に積極的に質問していた。
- ・砂地の多い鳥取の地の利を生かして芝の育成をしていること、芝の販売や育成を通して全国各地の方とつながれることを聞き、鳥取のよさや鳥取の企業の魅力を再発見している様子が伺えた。



【大山乳業農業協同組合】

- ・工場で様々な種類の牛乳やヨーグルトが作られる様子を見学した後、白バラ牛乳のおいしさの秘密や、大山乳業で働く人やその仕事の内容について詳しい説明を聞いた。
- ・参加者は、いつも家や給食で飲んでいる牛乳がどのように作られているかを興味深く見たり聞いたりした。
- ・「利き牛乳」体験では、3種類の製造方法の異なる牛乳の飲み比べを行い、その違いを色や匂い、味等で感じ取り、親子で相談しながら判断していた。



親子でお仕事体験ツアー（中部コース）

タイトル	氏名
[中部の有名企業のお仕事体験ツアーに参加して]	
研究のきっかけ（親子でお仕事体験ツアーに参加しようと思ったわけ）	学校の依頼で見て、中部にある有名企業がどのようなことをしているか気になり、興味を持ったからです。他にも、お仕事を体験できるということがこのようにものか気になったので参加しようと思いました。
調べたいこと（各企業で知りたいこと）	チュウブ どのようなことをしているかを全く知らないで全体的にどのような仕事をしているのかを知りたいと思いました。 大山乳業 いつも学校や家で飲んでいる白バラ牛乳がどのように作られているか、またどのような気配を付けて作られているかを知りたいと思いました。
調査の方法（親子でお仕事体験ツアーに参加して見学・体験）	
チュウブ	チュウブで働いている人の話を聞いたり、実際に作られているもの、作るために使っている機械を見たり触ったりして調べた。
大山乳業	大山乳業で働いている人の話を聞いたり、商品が作られている工場を見学、実際に働いている人が行っているお仕事を体験したりして調べた。
調査の結果（見学した工場や商品売り場、会社の様子・お仕事の様子、各企業の方のお話等）	
<p>（チュウブ）</p> <p>チュウブでは、主に芝生の生産や、ゴルフ場や公園の運営、建設事業やレストラン事業などを行っているそうです。チュウブ(鳥取)の芝生は、生産量全国2位で、品質としては1番といわれています。また、国内だけではなく、海外でも有名なそうです。その理由としては、品質を数値化しており、それをお客様に見てもらったことで安心して使うことができるため人気だそうです。また、様々な種類の芝があり、色々なところで使えるからだそうです。そして実際に芝生を作っているところに行き触ったり、歩いてみました。芝生は、クッション性のあるものですが、くわがいていいものでした。この芝生は国立競技場などでも使われているそうで、クッション性のある芝生のためけがが少ない選手たちも使っているそうです。</p>	

参加児童の学びの成果物

- 5 参加した児童の感想（一部抜粋）
 - ・鳥取の芝生が全国で1番と言われるほど良いものだと知りました。
 - ・自分の住んでいる琴浦町が芝の産地であることを初めて知りました。全国の有名な競技場にも芝を販売されていてすごいと思いました。
 - ・牛乳の飲み比べをしてみて、種類によって風味や味が違うことを初めて知りました。
 - ・いろいろな仕事があって、一生懸命働いている人がたくさんいるんだということが分かりました。
- 6 参加した保護者の感想（一部抜粋）
 - ・このツアーを通して、子どもは公園やスポーツ施設で見かける芝生や、白バラ牛乳により親近感が湧いたようです。世の中の仕事について知ることができ、将来の選択肢も増やせたのではないかと思います。
 - ・2社とも自分が住む琴浦町内の企業だったため、身近に当たり前にある、芝生や乳製品が全国に誇れるものであったことに子どもは驚きや喜びを持った様子でした。
 - ・両方とも中部地区では有名な事業者だが、子どもは初めての発見もあったようで、いい機会になったと思います。子どもの就職先としての第一条件はあくまで本人の希望ですが、いろいろな情報があつた上で選択できた方が良くと思うので、今後もこういった取組を続けてほしいです。

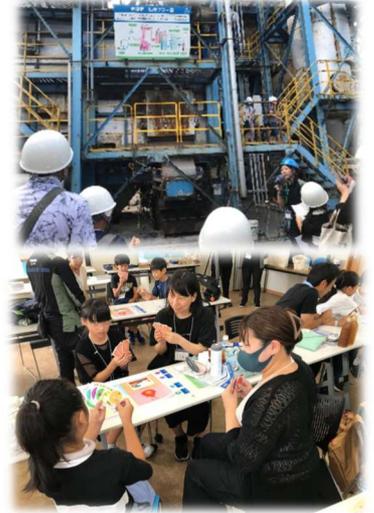
「令和6年度とつりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の
見学・体験内容と参加者の感想（西部地区コース）

- 1 日 時 令和6年7月30日（火）午前9時から午後4時30分まで
- 2 訪問企業 三光株式会社、株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク（SCN）
- 3 参加人数 児童15名、保護者14名、合計29名
- 4 見学・体験内容と参加者の様子

どちらの企業でも、実際に働いている方の様子を見学するとともに、その仕事内容の詳細や働きがい等について話を聞くことができた。さらにその仕事の一部を体験することができ、参加者は働く楽しさや難しさも実感していた。

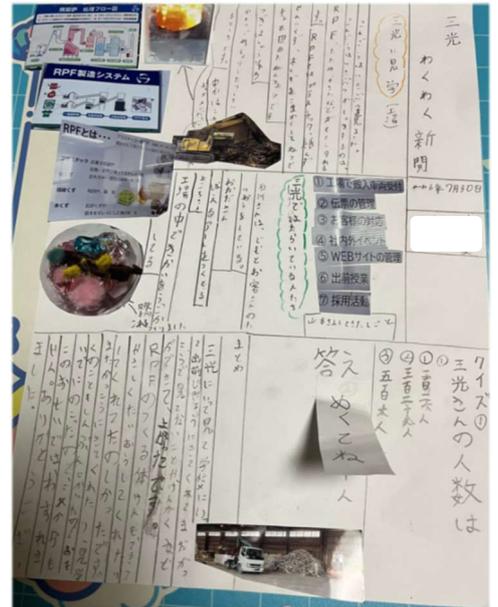
【三光株式会社】

- ・廃棄物処理工場を見学し、ごみが処理される過程で多くの人が関わっていることに気付いていた。
- ・親子でカードゲームを通してごみの分別から処理までの流れを学んだり、リサイクル燃料を実際に作ったりすることができた。
- ・若手の職員からの、鳥取県の魅力ある企業に就職した理由やそこで働く喜びなどの話を積極的に質問して聞いていた。



【株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク】

- ・4つの部署の業務について説明を聞いた後、ご当地キャラクターを考える「地域の魅力を発信する体験」と緊急災害速報をパソコンを使って行う「緊急情報を発信する体験」を行った。
- ・親子で話し合いながら鳥取県のよさや魅力を考えたり、パソコン操作に苦戦しながらも協力して緊急速報を発信したりするなど、楽しみながら仕事の体験ができた。
- ・鳥取から全国とつながる映像センターの様子を見学し、全国各地のケーブルテレビの実際の画面がたくさんモニターに映し出されていることに驚いていた。



参加児童の学びの成果物

- 5 参加した児童の感想（一部抜粋）
 - ・三光のように自分の知らないところにも、大きいすごい企業があると知ってびっくりしました。環境に優しい工夫があってすごいなと思いました。
 - ・緊急速報は自動で出てくると思っていたけど、たくさんの人が関わっていたと初めて知りました。
 - ・仕事はおもしろいということが分かって、鳥取で働こうと思いました。
- 6 参加した保護者の感想（一部抜粋）
 - ・鳥取県という全国で1番小さな県でも、日本中の方々と仕事を通じて繋がりを持つことは凄いことで、都会に行かなくても鳥取県に住んでいながらやりたいことや全国各地の方と仕事することができることを知ることができてよかったです。
 - ・子どもが企業の方々から温かく迎えられ、働く人々の姿を見るとともに熱量のこもったお話を伺うことや働く意義や楽しさ難しさを体験できることがすばらしかったです。
 - ・地元の企業の取組については親もあまり知る機会がないので、企業のイメージアップもあり、地元で働くという選択肢の広がりも感じられました。